

2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果

【1. 総評】

本年度の自己点検報告書は、大学基準協会からの「大学基準に適合していない」という極めて厳しい評価を真摯に受け止め、事実を隠蔽することなく赤裸々に現状と課題を記述した点において、高い透明性と危機感が伺える。評価結果の通知後、直ちに「内部質保証改善委員会」を立ち上げ、アセスメント・ポリシーの策定や単位認定制度の学則変更など、初動対応を迅速に行った点については大いに評価できる。しかしながら、これらはいくまで「対症療法（マイナスからゼロへの復帰）」の域を出ていない。今後、全学的なPDCAサイクルを持続可能な大学運営の重要な施策として定着させ、本質的な教育の質向上（ゼロからプラスへの成長）を果たせるかどうか、大学の存続を左右する試金石となる。

【2. 評価できる点】

1. 事態に対する迅速なレスポンス

単位超過問題の要因（社会人編入時の包括認定制度の運用エラー）を即座に特定し、対面集中講義の増設や学則変更といった具体的な対応を数ヶ月単位で完遂した組織の機動力は評価に値する。

2. 情報の透明性と開示姿勢

入学者数の極端な落ち込み（定員充足率0.4）や、教員負担の偏りといったネガティブな情報を客観的に記述しており、現状を正確に直視しようとする経営層の強い意志が確認できる。

【3. 改善を要する点・今後の重要課題（提言）】

1. 内部質保証システム（PDCA）の構造的欠陥の解消

これまでの体制が機能しなかった根本原因の分析がやや不足している。新しい委員会を立ち上げるだけでなく、「誰が、いつ、どのデータを用いて、どのように改善を命令するのか」というフローを明確に図式化し、教職員全員に周知する必要がある。他大学の事例を参考に、高野山大学独自の実効性あるサイクルを確立されたい。

2. データ駆動型（データドリブン）の目標設定とIR機能の強化

報告書内には「注力する」「推進する」といった定性的な表現が多く、目標達成度を測るためのKPI（重要業績評価指標）が不足している。今後は導入予定の教務システム（キャンパス・プラン）等のデータをIR室が集約し、「退学率〇%減」「科研費申請率〇%達成」「学生アンケート総合満足度〇%以上」といった定量的な指標に基づく評価を行うべきである。

3. 「教職協働」による属人的な大学運営からの脱却

小規模大学特有の課題として、一部の教員や職員への過重な負担（平均 13 コマの授業担当、事務の兼務など）が指摘されている。教育学科の廃止と密教学科への一本化を機に、教員が教育・研究に専念し、職員（URA 等を含む）が大学運営と学生支援を担う分担を明確にし、業務を属人的に実施するのではなく、部門横断的に協働しうる真の「教職協働」体制を再設計することが急務である。

【4. 結語】

高野山大学は、140 年の歴史を持つ我が国の密教研究・教育の最高学府として、独自の存在意義を有している。今回の「不適合」判定は最大の危機であると同時に、旧態依然とした組織風土を根本から変革するための最大の好機でもある。学長の強力なリーダーシップのもと、宣言された改善計画が遅滞なく実行されることを強く期待する。

「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」について

添付の「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」の内容について、間違いのないことを証明します。

令和8（2026）年 3月 23日

高野山大学学長

松長 潤慶 殿

高野山大学 外部評価委員

佛教大学歴史学部教授

八木 透



「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」について

添付の「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」の内容について、間違いのないことを証明します。

令和8(2026)年3月23日

高野山大学学長
松長 潤慶 殿

高野山大学 外部評価委員
佛教大学社会学部教授

大谷 栄一



「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」について

添付の「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」の内容について、間違いのないことを証明します。

令和8（2026）年 3月 23日

高野山大学学長
松長 潤慶 殿

高野山大学 外部評価委員
滋賀県立大学人間文化学部教授

市川 秀之



「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」について

添付の「2025年度 高野山大学 自己点検報告書に対する外部評価結果」の内容について、間違いのないことを証明します。

令和8(2026)年3月23日

高野山大学学長
松長 潤慶 殿

高野山大学 外部評価委員
皇學館大學文学部教授

岡野友彦

